

小野木孝治 満鉄初代建築課長。群がる業者の誘惑を全く受けつけず、満鉄沿線のまちづくりを一手にこなした。

おのきこうじ

佐賀の乱・1874 = 東京の本所の旧幕臣名家の中村茂雄の末っ子に生まれる。

明治14年政変1881 = 7歳 :

岩倉具視没・1883 = 9歳 : 中村家に入出入りしていた小野木家の養子となる。

帝国憲法発布1889 = 15歳 :

実父が工部省皇居御造営係だったことから、建築を志すようになり、

大本教・1892 = 18歳 :

日清戦争始・1894 = 20歳 :

白馬会・1896 = 22歳 : 東京帝国大学建築学科に入学し、辰野金吾らに師事。

Bushidou・1899 = 25歳 : 卒業して、海軍省呉鎮守府建築課員となったが、体調を崩して辞任。

静養後、辰野の勧めで東大講師をつとめたのち、

田中正造直訴1901 = 27歳 :

教科書疑獄・1902 = 28歳 : *台湾総督府の建築事務囑託となり、結婚して赴任、清廉潔白さで後藤新平の信頼を獲得し、

日赤台湾支部庁舎と病院・総督府中央研究所などを設計。

日露戦争終・1905 = 31歳 :

満鉄発足・1906 = 32歳 : 満鉄が設立されて後藤が初代総裁になると、

韓国反日暴動1907 = 33歳 : *満鉄に入社して初代建築課長となり、本社の大連移転に従い現地入り。

アライ 創刊・1908 = 34歳 : 第一弾の満鉄近江町社宅で、しゃれたレンガ造りの東アジア初の2階建集合住宅街を実現。この年、奉天・

長春・撫順に体育館付き小学校も設計。

韓国併合・1910 = 36歳 : *ホテル併設の赤レンガ造り奉天駅舎。

明治天皇没・1912 = 38歳 : 欧米出張して帰国後、手狭となっていた満鉄大連医院の新築に携わるが、

ハルビン条約・1919 = 45歳 : 提案して、マンションの先駆ともいえる地上4階地下1階の新社宅関東館・南山寮を生み出す。

原敬首相暗殺1921 = 47歳 :

水平社結成・1922 = 48歳 : 病院本館をアメリカ会社の日本法人が担当することに決定すると、

関東大震災・1923 = 49歳 : 退職。各方面から注目されたなか、現地にとどまり仲間と建築事務所を開設、満州建築協会会長となる。

以後も、奉天ヤマトホテルや大連の遠東ホテルなど、次々傑作を生み出し、

共産党事件・1928 = 54歳 :

大連市議などもつとめたが、

海軍軍縮条約1930 = 56歳 : *時流を批判して、全てから引退し、

満州事変・1931 = 57歳 :

五一五事件・1932 = 58歳 : 大連で没した。